

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年12月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年12月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様のニーズも踏まえた児童への支援の提供ができています。	支援後のフィードバックやモニタリング時の要望の聞き取りなどの機会、事業所側から定期的に、かつ積極的に聞き取りや提案を行っている。	引き続き、保護者様のニーズも踏まえながら、児童の発達に合わせた支援の提供を行うと共に、事業所外での児童の姿も把握し、支援に反映させられるよう、積極的に関係機関との連携を図っていく。
2	保護者様の交流や相談援助の機会が設けられている。	年1～2回、茶話会を企画し、保護者様同士の交流や気軽な相談援助の場としている。 支援後のフィードバックの際に困り事の相談があった際には、児童の支援を見学しながらの相談援助や、児童がいない中での別日での相談援助についても提案し、都度対応している。	相談援助の場を積極的に活用していただけるよう、引き続き保護者様へのお声掛けを進めていくと共に、契約者以外の方でも気軽に相談に来ていただける事業所になるよう、SNSなどを活用した発信や周知活動を行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域との交流の機会の検討が必要。	保育所や認定こども園、幼稚園等については、どの範囲での交流が可能であるか現状では聞き取りが不十分である。 地域については、事業所側からの発信が不足している為、より事業所の事を知っていただく必要がある。	保育所や認定こども園、幼稚園等への聞き取りを進め、可能な範囲での交流の機会に具体的に擦り合わせを行っていく。 関係機関に限らず身近な地域にも知っていただけるような発信や周知活動を計画・実施していく。
2	事業所での取り組みやお知らせについて、保護者様への情報伝達不足している。	現状ではホームページや事業所内での掲示などでの発信を主としているが、より保護者様の目に留まりやすい情報発信媒体や方法の検討が必要。	既存の発信方法も更新されていることがわかりやすくなるような工夫を行い、他の発信媒体についても検討する事で、保護者様の目に留まりやすい情報発信を行っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校		公表日		2026 年 1 月 19 日		
		利用児童数		17		回収数 17		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	2	個人スペースや共用スペース、片付けスペースが分けられていて良いです。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	0	2	・人数少なくてなのか忙しそう。以前やっていた先生との話がなくなった。 ・適切な人数で子どもが緊張せず、リラックスできています。	法令に則った人員配置での運営を行っておりますが、今後も保護者様のニーズにお応えできるよう適切な職員人数での運営を進めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	2	何の部屋か子どもにわかりやすいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0	支援プログラムに沿って計画を立て、丁寧に支援してくださっています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0	計画に沿って支援していただき、その結果子どもの力も伸びていると感じます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	0	体を動かす日や座って活動する日や交流の日など様々な機会があると思います。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	3	4	他の子どもとの関わり（地域）はあまりないと感じます。	園の先生に承知いただき、事業所での児童の様子を見ていただきながら情報共有を行わせていただいております。引き続き、日頃の情報共有や周知活動を行う中でニーズを聞き取り、必要に応じて対応してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0	書類を確認しながら一つ一つ丁寧に説明していただきました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0	書類を確認しながら一つ一つ丁寧に説明していただきました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	8	1	0	家族と職員、また他の利用者の保護者の方との交流の機会があって良かったです。	保護者様の希望に合わせて家族支援による相談援助を行っており、年に数回、茶話会などの機会において、困りごとの聞き取りや情報提供も行ってあります。事業所内において他事業所のポスターやパンフレットも共有しておりますので、いつでもご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0	その日の様子や活動内容を詳しく伝えていただいています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	5	0	2		個別支援計画のご要望確認の際や、保護者様の都合に合わせて相談援助を随時行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2	0	0	こどもの話も家族の話もよく聞いて話をふまえて支援してくださっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	3	2	きょうだい同士の交流の機会はありませんと感じます。	年に1～2回の茶話会を開き、保護者様と職員で合同のお話ができる時間を設けております。開催が近くなりましたらご案内しておりますので、ご都合つくようでしたら是非ご参加ください。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	7	0	4	SNSを使用して連絡できるようになり、より便利になったと思います。	ホームページにて定期的に情報発信を行っております。自己評価の結果につきましても、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	4	はじめにマニュアル等を見ながら訓練等についても詳しく説明していただきました。	事業所でマニュアル作成しており、定期的な訓練を実施しております。訓練の内容についてはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	3	0	10	はじめにマニュアル等を見ながら訓練等についても詳しく説明していただきました。	定期的な訓練を実施しており、訓練の内容についてはホームページに掲載しております。訓練に参加できなかったお子様につきましては、ご利用の際に避難経路等の伝達を行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	2	はじめにマニュアル等を見ながら訓練等についても詳しく説明していただきました。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	6	0	1	はじめにマニュアル等を見ながら訓練等についても詳しく説明していただきました。	怪我等があった際には、速やかに発生した状況も添えてご連絡しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	職員の方にも場所にも安心して通所しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	5	0	0	毎回通所を楽しみにし、イベントにも積極的に参加しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・結の異など服汚れる可能性あるとき、こどもに応じてエプロンやスモッグを用意していただけたら有難いです。もしくは、事前告知いただけたら汚れてもいい服で連れていきたいです。 ・お世話になれて本当に良かったです。いつもありがとうございます。	事前の告知が漏れており、申し訳ありませんでした。最近では服が汚れる可能性がある活動の際は汚れても良い服装での来所のご案内、またはこちらで服を覆う対策を行っております。今後その形での対応進めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校				公表日		2026 年 1 月 19 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室を3つ備え、同時時間帯で4名の個別の利用がある際には広いスペースを活用している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員に対して適切な職員配置を行っている。	職員の募集はかけている状況であり、今後、実際の業務状況に応じた適切な職員体制を確保していく。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		サーキットの道具やおもちゃの場所を決めており、児童にとっても把握しやすい環境づくりをしている。 送迎車⇄玄関までが車通りがある為、職員の誘導により気をつけて対応している。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝清掃をし、事業所全体の清潔さを保っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室での支援を主として行っており、イベント時や使用していない時間帯では余暇活動などでも活用している。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当者会議等により利用者へ提供するプログラムの改善、継続について話し合っている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年評価表を配布し、ご意見に合わせた対応を行っている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・管理者・上長との1on1面談の機会があり、相談結果を業務改善につなげている。 ・朝礼やミーティングなどでも意見を聞き取っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・利用者及び事業所内評価は行っているが、第三者による外部評価は行っていない。 ・社内の内部監査の評価を基に業務改善に繋げている。	社内の定期的な内部監査により、引き続き法令遵守を徹底する。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事例検討会やテーマ研修、座談会などがZoomや対面で実施されている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・統一された支援プログラムについて、ホームページで公表されている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリング期間において、保護者様から要望の聞き取りを行い、計画書に反映している。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議に指導員も参加する事で計画書に意見が反映されており、原案作成後は職員で文章の確認も行っている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		利用児童のパーソナルファイルに計画書がファイリングされており、いつでも職員が確認できるようになっている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメント様式を活用し、支援記録や社内システムのスペースにて、行動の状況を共有、各自確認も併せて行っている。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援の提供すべき支援の各項目を網羅しており、5領域も踏まえた支援内容の設定を行っている。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別療育については、計画書の支援内容を基にその日の担当指導員が支援プログラムを立案しているが、実際に支援を行った後に支援内容を共有する事で支援内容が偏らないようにしている。	引き続き、細やかな情報共有を意識して行っていく。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		担当職員を固定せず、指導員同士で課題や達成度を引継ぎなどで共有しながら様々な視点での支援を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		ニーズに応じて個別・小集団の提案、支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間で支援の引継ぎを行い、次回利用に役立てている。	広い共有スペースを使用する際にタイミングが重なってしまう事があった為、声を掛け合って対応していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼時や個別での引継ぎ、社内システムのスペースなどで共有している。	より相談する機会を増やしていく事で支援の充実を図っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を作成し、他職員も閲覧できるシステムとなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度のモニタリングを行い、計画の内容について検討、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		指導員も参加する機会を設けており、支援などで参加が難しい場合には、事前に利用状況をまとめている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		他機関と連携し、必要に応じて情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談室を介してのサービス担当者会議などで児童についての情報共有を行うと共に、保護者様の意向にも合わせて園と連携を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		進学・進級などの際には、保護者様より意向を聞き取り、関係機関との連携を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		センターから発信された研修に参加し、月1回の相談室とのモニタリング会議に合わせて、情報共有を行っている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	園の先生に来所いただき、事業所での児童の様子を見ていただきながら情報共有を行った。	引き続き、日頃の情報共有や周知活動を行う中でニーズを聞き取り、必要に応じて対応していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援内容をお伝えし、保護者様から最近の出来事などもお聞きしている。得た情報は職員間で共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族支援による相談援助や茶話会などの機会において、困りごとの聞き取りや情報提供を行っている。 ・他事業所のポスターやパンフレットも共有している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行うと共に、利用開始以降も問い合わせがあった際には都度説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング期間において保護者様より要望を聞き取り、計画書原案を説明した上で、本計画としている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバックで相談を聞き取ると共に、時間が必要な際には家族支援による相談援助の機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に1～2回の茶話会を開き、保護者様と職員で合同のお話ができる時間を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご相談を受けた際は迅速に他職員や児発管と内容の共有をすると共に、個別で相談の機会が必要な際には、家族支援での相談援助の機会を設けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ホームページの定期更新による発信を行っている。 ・保護者様との連絡手段としてLINEを導入している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる書類については鍵付きの書庫で保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		職員同士で配慮が必要である点について相談し合い、提案や支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・ホームページによりイベント内容や事業所運営に関する投稿を行っている。 ・自立支援協議会などに参加し、参加された方との交流を図っている。	契約者以外の方も参加できる茶話会やイベントなどを開催を検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、定期的に避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの聞き取りの際に確認し、変化があった際には保護者様より都度教えていただけている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		日常的な食事の提供はないが、イベントで食品を扱う際など保護者様にアレルギー確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しており、研修や訓練が実施されている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約の際には安全確保等の説明を行い、実際に起こった際はフィードバックの際の説明や電話による対応を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットがあった際には報告書を作成し、内容について検討している。 ・ヒヤリハットも防げるよう、児童の体調や状況も他職員と都度共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内で研修や訓練が実施されている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			